

## 建設水道委員会 決算議案に関する 委員長報告



市営住宅

当委員会付託の決算議案七件を審査した。

「一般会計決算」では、老朽化が著しく抜本的な改修が困難な市営住宅について、安全面も考慮し、今後の市の方針を決め、行政としての指導力を発揮して住宅政策を進めていくよう意見を付している。また、アルネ津山が、千人規模

の避難者を受入れる災害時防災拠点施設として、岡山県に指定されていることを知らない住民も多いためPRに努めるよう指摘し、全員一致で原案認定と決した。

「下水道事業会計決算」、「農業集落排水事業会計決算」については、委員から、地域特性もあるが今後は、「農集事業」より合併浄化槽の設置を推進した方が良いのではとの提言があった。当局から、公共下水道の認可区域以外については、合併浄化槽の補助金制度もあることから、合併浄化槽の設置を推進していくとの答弁があり、全員一致で原案認定と決した。

「水道事業会計決算」では、今後の経営状況の見直しについて、施設の老朽化に伴う多額の改修費が必要なことと、岡山県広域水道企業団からの受水費の増額等の負担増が見込まれ、経営環境が苦しくなるとの答弁があった。

これに対して、受水については

今以上に負担を増やさないことを念頭におき、関係機関とも連携をとり企業団と協議していくこと、工事については道路を何度も掘り起こすのではなく、下水道やガス会社とも連携して工事を進める等効率化を図りコスト削減するよう意見を付し、全員一致で原案認定と決した。

「工業用水道会計決算」は、経費節減と事業の効率化に努め設備投資にも配慮しながら、新規企業を一社でも多く誘致するよう要望を付し、全員一致で原案認定。

## 建設水道委員会

市の都市建設部(土木、都市基盤、下水道他)、水道事業、まちづくりプロジェクト推進室の市街地再開発事業に関する事項に対応する委員会です。

◎岡田康弘 ○竹内靖人 岡安謙典 倉持照憲  
津本辰己 西野修平 村田隆男 森西順次

十二月定例会の付託議案十四件、請願二件を審査した。

この内「下水道事業特別会計補正予算第一次」では、津山・加茂・勝北の三ヶ所の浄化センターから発生する下水汚泥の処理に、前年度は約四千万円を要したため、汚泥処理を一元化し経費削減を図るよう意見を付し、全員一致で原案可決と決した。

「一般会計補正予算第三次」・「農業集落排水事業補正予算第一次」・「水道事業会計補正予算第一次」は、いずれも事業費確定にともなう補正であり、全員一致で原案可決と決した。

「総社川崎線早期事業実施に関する請願」・「市道A三十八号線部分的拡幅工事の請願」は、願意を認め全員一致で採択とした。